

＜管理者対象感染症対策基礎研修後の質問と回答＞

※全ての質問・感想等に対して掲載しています。

令和2年6月30日現在

	質問・感想等	回答等
1	<p>介護職員の感染が最も心配であり、急遽手伝っていただける方を考えて欲しい。また、自宅に帰れないことも想定されるため、その方達の宿泊先も同じく準備できればと思う。</p>	<p>介護職員が感染した場合の、事業継続計画を立てることが、重要です。別添の参考資料（新型コロナウイルス対策マニュアル作成資料及び新型コロナウイルス感染対策フロー作成資料）を参考に貴施設・事業所に合わせた対応についてご検討ください。</p> <p>また、系列の事業所があれば組織全体で検討しておくことも重要です。</p> <p>介護保険情報「vol. 848 訪問系サービス事業所の介護サービス系継続に向けた支援について」に基づいた県の対応については、今のところ未定となっておりますが、今後の国・県からの情報について、注視いただくとともに、引き続きご相談がございましたら、当所までお寄せください。</p>
2	<p>登米保健所のHP早く見ます。コロナ対策は6月から取り組んでいます。6月から面会可能にしています。今後の状況を踏まえながら、対応策を考えていく必要があると思った。</p>	<p>面会制限は、利用者・家族のQOLの低下が懸念されます。感染状況の把握や面会者の健康・移動行動等を把握いただき、実施に当たっては、面会の部屋の換気や飛沫感染予防策などに配慮の上実施願います。</p> <p>また、長期間にわたる対応が求められますので、WEB環境などの整備も検討ください。</p> <p>当所HPでは、引き続き関連情報を掲載予定です。</p>
3	<p>アルコール、マスクなど備品が不足することが心配である。</p>	<p>消毒液やマスクに関しては、現在だいぶ流通されていますが、引き続き備蓄等の準備や濃厚接触者などが発生した場合を想定した、使い捨てガウンやフェイスシールド等についても検討いただくことが望まれます。上記1の事業所内での検討の中で具体的に検討ください。</p>
4	<p>（居宅）事業所各自で体温、体調管理を行っているが、スタッフの健康管理シート作成した方がよいか。</p>	<p>無症状者からの感染伝播があるとされています。また、発症（有症状となる）2日前から感染力があると報告されておりますことから、早期の発見が重要です。健康管理シート作成は、予兆に気づく上から重要です。記録することと合わせ、記録を管理する担当者、報告システムも作っておきましょう。また、三密等に留意し、心配なことがあったら相談できる体制・職場環境づくりが重要です。</p>
5	<p>CMより相談あり。（利用者の）関東在住の家族が帰省する予定である。その家族が帰省中は、訪問介護を中止しし、その家族が帰省中は利用者の検温などの健康観察を行っていただき、家族が帰省さ</p>	<p>ご家族が、実際に必要な介護が出来るのか確認し、ご家族の了解が必要と考えます。もし、ご家族が対応出来ない場合は、感染防御に配慮し、訪問介護を提供してください。</p> <p>参考：県長寿介護課作成「訪問介護員のための新型コロナウイルス感染症対策の手引き」参照</p>

	<p>れた後に通常対応とし、検温などの健康観察は継続すると回答した。この、対応は適切か？</p>	<p>感染防御：標準予防策に基づいた対応（使い捨てマスクやガウン、手袋、フェイスシールド等を対象の介護内容で実施します。） 健康確認等については、お見込みのとおり実施いただくことが望まれます。</p>
6	<p>改めて、事業所の対応を見直す事が必要だと感じた。現在のコロナの状況等興味深く聞くことができた。</p>	<p>感想をいただき、ありがとうございます。引き続き情報発信など行ってまいりますので、ご意見などがございましたらお知らせください。</p>
7	<p>4月からデイサービス利用者にマスク装着。現在も実施中。他事業所していない。それぞれの判断で良いのか？</p>	<p>マスク着用の主目的は、無症状の感染者から飛沫が飛ばないようにする「感染源コントロール」です。そのため、咳やくしゃみなどが有る場合は必要です。また、近い距離で会話する場合は使用が望まれます。一方、長時間の利用では身体的な負担もありますので、会話しない場面や適切な距離（人と人の距離を1m～2m）がある場合は外すことは問題がありません。また、庭等の散歩時なども人との距離が適切であれば外すことは問題がありません。</p> <p>マスク内は体温が2℃ほど上昇し、口渇を感じにくいため、夏期の熱中症予防の観点から、マスク着用時は水分摂取をこまめに行うことが必要です。</p> <p>マスク装着は必ずではありませんが、飛沫感染予防の上から重要です。マスクは外す時、表面に触れないことや布マスクでは、毎日交換し、洗剤での押し洗いと陰干しして乾燥させることが必要です。</p> <p>なお、感染経路は利用者だけでなく、職員や外来者（業者等）、利用者ご家族等も考えられます。そうした方々の健康状況の情報が入りやすいようにすることや県、市内の感染状況を踏まえた対応が必要と考えます。心配なことがあればご相談ください。</p> <p>※新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）及び新しい生活様式実践例をご確認ください。</p>

介護保険施設等管理者対象感染対策基礎研修

研修事前の質問と回答

宮城県登米保健所 R2. 6. 18現在

質 問	回 答
<p>新型コロナウイルスには、アルコール70%以上または次亜塩素酸ナトリウムが効果的と聞きますが、アルコール濃度60%以上も効果があるという報告もあります。様々な見解がありますが、消毒効果があるのはどのような消毒剤でしょうか。</p>	<p>※消毒の対象物によって使用する消毒剤は異なります。ここでは、環境消毒及び手指消毒、洗濯についてお知らせします。</p> <p>新型コロナウイルスはウイルス粒子の一番その側にエンベロープを持っているタイプのウイルスです。</p> <p>(ノロウイルスはエンベロープのない、ノンエンベロープのウイルスです。そのため、アルコール消毒は効果がありません。)</p> <p>このため、この脂質を破壊する消毒液が効果的と言われています。</p> <p>※エンベロープ(envelope)とは <u>ウイルス粒子の一番外側にある膜。脂質2重層に、糖タンパクが挿入された構造をとる。消毒剤を作用させたときこれを持つウイルスの方が持たないウイルスよりも消毒剤で感染力がなくなりやすい。</u></p> <p>新型コロナウイルスを取り除く消毒剤は、下記のとおりです。</p> <p>①次亜塩素酸ナトリウム 消毒の対象物によって濃度が異なりますが、既定の濃度及び開封後、濃度が下がることに注意して希釈量を変える必要があります。(開封後3年を経過した物は使用しないこととされています。)</p> <p>※人体には使用できません。</p> <p>②アルコール消毒液 アルコールには、種類がありますが、消毒に使うのはエタノールです。エタノールの濃度の関しては、WHOでは、エタノール60%～80%、厚生労働省の見解では、エタノール70%～80%とされています。</p> <p>アルコール製剤についても、開封後は濃度が低下しますので開封後6ヶ月以内に使用することが重要です。</p> <p>様々な、実験結果では、50%以上で効果ありとの報告もされていますが、その場合は1分以上つけておく等時間を確認する必要があります。</p> <p><手指消毒について> 手指消毒においては、アルコール製の擦式速乾性消毒液では、30秒以上手指に刷り込む必要があります。水で濡れた手で</p>

は濃度が低下しますので、乾いた状態で使用ください。

また、液体せっけんと流水による手洗いも 30 秒以上実施することが重要です。

商品名：ウエルパス、ヒビスコール、ビオレu薬用泡ハンドソープ

<衣類の消毒及び環境消毒について>

新型コロナウイルスは、界面活性剤によって除菌されるとの研究結果が出ています。

効果が確認された界面活性剤の種類は下記のとおりです。

※一定程度の濃度を持つものが、新型コロナウイルス量を 99.9%以上減少させたことを確認したとの報告があった。

①直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(0.1%以上)

②アルキルグルコシド(0.05%以上)

③アルキルアミノオキシド(0.1%以上)

④塩化ベンザルコニウム (0.1%以上)

⑤ポリオキシアルキルエーテル(0.2%以上)

⑥塩化ベンゼトニウム

⑦ポリオキシエアキルエーテル

商品名：クイックルワイパー、トイレマジックリンなど (1分) 以上 アタックZEROなど (10分)

【北里大学、国立感染症研究所のHPより引用、詳細は確認願います。】

なお、室内や手、身体に次亜塩素酸ナトリウム及びアルコールを噴霧することは、人体に付着あるいは吸入することで身体に悪影響がありますので絶対に行わないでください。

また、最近報道で取り上げられる次亜塩素酸水を新型コロナウイルス対策として消毒に活用することについては、現時点では評価中となっておりますので、ご注意願います。